

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	いのちの教育あったかエリア事業費			
担当課係名	教育指導 課	- 係	作成者	田口 歌子
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ 93
	基本計画	学校教育の充実と教育環境の整備		
	主要施策	地域に開かれた特色ある学校教育の推進		
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	1 項 教育総務費	2 目 事務局費
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度		新規/継続の区分	新規
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	学校教育法 教育基本法 第5条第2項			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	同一中学校区の西明寺地区を推進地域とし、西明寺小・中学校の児童生徒を対象に生命尊重を中心とした道徳教育を行う。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	学校と家庭、地域が連携しながら地域社会全体が結びつきを強くすることにより命の大切さについての認識を深めるためのモデルづくりを行う。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	いのちの教育体験活動として講演会、推進地域以外に住んでいるゲストティーチャーを活用した授業、福祉施設等の訪問推進校同志の交流活動や動物の飼育体験、あったかメッセージカードによるお年寄り招待等を行う。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	23年度実績		
効果	活動指標	事業回数	目標	回	19	
			実績	回	19	
			達成度	%	100.0%	
	成果指標	参加人数	目標	人	2,500	
			実績	人	2,580	
			達成度	%	103.2%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)			603		
	人 件 費 (B)		—	1,696		
	職 員 数		—	0.20		
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479		
	(A) + (B) 投下コスト		—	2,299		
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	
		県 支 出 金			603	
		地 方 債			0	
		そ の 他			0	
		一 般 財 源			1,696	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	121,000		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	77		

【事務事業の今までの成果】

道徳の時間を公開する機会が大きく増加したことにより、児童生徒が自分の思いを表現することをはばからなくなってきた。また、中学校教員が小学校児童のことを、小学校教員が中学校生徒のことを知る機会が増え、互いに「地域の子ども」として道徳教育に当たることができている。また、ゲストティーチャーをはじめとする地域人材等の情報を小・中学校で共有できた。地域との連携が深まり学校がコミュニティの中心的存在となることで、地域の活性化に貢献している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	本事業は文科省「道徳教育総合支援事業」によるものであり本県では引き続き他地域で委託されており本市での実践は先行例として良い参考となっている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	小・中学生による地域住民宅への訪問等への感謝の声が多く寄せられている。また保護者から子どもの心情が豊かになったと報告された。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
E	A 現状のまま継続（実施）	単年度事業により終了
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
E	単年度事業により事業終了。

